



あいさつ

PTA会長 森田悦雄

王府の膝元、この首里の学び舎から多くの逸材が輩出され、今もその伝統が脈々と受け継がれ今年で130年という歳月が積み重ねられました。奇しくもその節目の祝いに皆様とその喜びを分かち合える幸せをいただけることに感謝いたします。在校生1,300名余りの保護者を代表してごあいさつ申し上げます。

130年という厚い歴史の中で、多くの卒業生と先生方に育まれた一中・首里高の伝統。今回の記念行事の準備を進める中で、多くの愉快・豪快な同窓生の皆様と接する機会をいただき、あらためて首里の伝統に触れる事ができました。先輩方の熱い話や残された貴重な資料から、その伝統の深さも知ることができました。同窓生の母校に対する並々ならぬ愛情の強さももちろんのことながら、一番感じ入ったことは、かわいい後輩たちのために物心両面から何とか支えていきたいという先輩方の熱い思いです。

籠の鳥であった中学までとは異なり、高校生は小人ではないが、されども大人でもない中途半端な存在であり、社会へ出る見習い生であります。その貴重な時を首里で過ごし、様々な挑戦と喜び、そして幾度の失敗と悲しみ、一生の付き合いとなる友や先輩、恩師との出会い。それらが全て、血や肉となってパーツの一つ一つとなり組み込まれ、成長していく首里での日々。そんなパーツの中でも、もっとも重要な部分が『首里の生徒。首里の卒業生という誇り』ではないでしょうか。

選抜試験を勝ち抜き、この名門首里の門をくぐったわが子は、自慢の息子・娘でありましょう。誇りに思うわが子よ。先輩方が築いてきた首里の伝統をしっかりと受け継ぎ、在学中にいただいた先生の恩を忘れず、これから来る後輩に力強くさらに大きなバトンを繋いで行ってください。

親としても、これから社会へ出て行く君たちをしっかりと後押しして行きましょう。親の思いばかりではなく、先輩方の熱い思いや先生方の寄せる思いもしっかりと感じながら、天から授かった我が子が社会の中で自立していけるように導いていきましょう。

首里高PTAは、これからも変わることない伝統を引き継ぐ首里の現役生を支えながら、先生方や養秀同窓会の皆様方と共に本校のさらなる発展に尽力していきたいと思っております。



あいさつ

生徒会長 宮 国 伸一郎

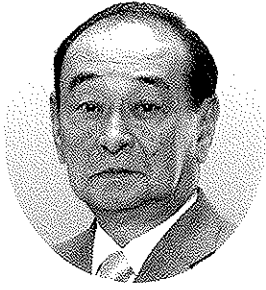
2010年、私達の首里高等学校は創立百三十周年を迎えます。尚温王の「国学」開学からは210年の歴史の節目ということも知り、そのような年にこの首里高校で学べたことを幸せに思います。私達首里高生は開学精神である「海邦養秀」の言葉を、折に触れ先生方や先輩方に教えられてきました。海に囲まれたこの国から優秀な人材を育てたいという理念を持って学校を創設し、そして、その教えがずっと引き継がれてきたことを入学以来、何度か聞かされました。過去、現在、未来へとつながる首里高校の歴史の中に、今私達がいることも喜びであり、同時に身が引き締まる思いがします。

今年は全国高校総体「美ら島総体」がこの沖縄の地で開催された年でもあります。空手道部となぎなた部、フェンシング部が出場し活躍しました。そして、総合開会式では、2学年全員が南風原高校と合同で琉舞・エイサーを披露し、沖縄の芸能を全国にアピールする機会にも恵まれました。また、首里高での部活動や学校行事で学んだことを活かし、たくさんの生徒が大会運営補助員として「美ら島総体」に参加しました。

このように、創立以来受け継がれてきた「文武両道」をスローガンに、勉学、部活動、学校行事どれも全力で取り組んでいます。運動系の部活、文化系の部活ともに活発で、「震天動地」の旗を掲げ仲間と共に日々練習に励んでいます。毎年秋には那覇高校とのスポーツ交流会が実施されています。一中対二中の対決です。那覇高校は互いに切磋琢磨しあう良きライバルです。今年、俳句部は俳句甲子園に出場し、全国準優勝に輝き首里高の名を広めました。数々の学校行事では生徒会を中心に、生徒が企画し実践し自ら楽しむ工夫をしています。今年は首里フェスの年で「百三十周年だよ！全員集合！」のテーマのもと、5つの団を形成し、学年の壁を越え、生徒と職員一体となり、大いに盛り上がり感動を分かち合うことができました。このように、先輩方が築いてきた、元気な首里高校はまだ健在です。

しかし、創立から現在に至るまでには、厳しい社会情勢の中で困難な時期もありました。戦時中、県立一中の多くの生徒が学徒兵として戦場に行き、大切な青春時代に学校生活も送れず、学校施設も戦災に遇い、中には若い尊い命を失ったりしたことなどが悲しい歴史として記されています。毎年六月には一中健児の塔の前で慰霊祭が行われます。私達後輩は、学校生活が送れることを幸せに思い、平和を継承しながら日々学んでいきたいと思っています。

沖縄をリードする偉大な先輩方が多いため、時には、「首里高生らしくしろ」とか「首里高生としての誇りをもて」と叱咤激励され、多少のプレッシャーを感じることもありますが、歴史と伝統の重さだと受け止め、誇れる首里高校を作る励みにします。現在、私を始め、ほとんどの在校生が充実した楽しい首里高ライフを送っています。これからも協力しあって、変わらない首里高の良さに新しい首里高の良さを加えて、百三十一年、百三十二年と歴史を刻んでいきたいと思えます。



祝 辞

沖縄県知事 仲井眞 弘 多

沖縄県立第一中学校・首里高等学校創立百三十周年記念式典が挙行されるにあたり、お祝いのごあいさつを申し上げます。

本校は、尚温王が創設した国学を前身として、明治13年12月9日首里中学校として創立され、幾多の変遷を経て、現在にいたっております。以来、本県発展に多大な業績をしるし、百三十年の輝かしい歴史を築き上げてまいりました。

国学創建の理念である「海邦養秀」の精神のもと、多くの優れた人材を輩出し、県内外の様々な分野において、その中心となって活躍しておられます。

この輝かしい歴史と伝統は、草創期から御苦労された方々によって築かれたものであります。ここに、多くの苦難を克服してこられた歴代の校長をはじめ、教職員、同窓会、PTA並びに関係者の皆様に対し、心から感謝申し上げます。


さて、県としましては、人口減少・少子化が進行する昨今の社会情勢の中で、若い世代の育成は沖縄の将来の発展にとって極めて重要であると認識しており、今後とも、その基礎・基盤となる学校教育の充実に取り組んでいく方針であります。

本校におかれましては、今後とも社会の求める幅広い優秀な人材の育成校としての使命を担って、羽ばたいていただきますよう御期待申し上げます。

終わりに、この記念すべき百三十周年が新たな出発点となり、生徒の皆様の更なる活躍と本校の限りない発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

創立記念 事業計画

1 記念行事

- (1) 創立百三十周年記念 沖縄セルラースタジアム那覇落成記念 首里高校・那覇高校野球特別 試合
沖縄セルラースタジアム那覇 平成 22 年 4 月 11 日(日)
- (2) 創立百三十周年記念「首里フェス in 2010」 本校グラウンド 平成 22 年 9 月 11 日(土)
テーマ：「燃えろ！130 魂！健児のキセキ 今ここに！」
- (3) 創立百三十周年記念校内弁論大会 平成 22 年 7 月 16 日(金)
- (4) 記念講演会
本校体育館 平成 22 年 12 月 9 日(木) 13 時～
講師：秋山 仁 氏（あきやまじん 1946 年生まれ 東京都出身）
数学者、理学博士、東海大学教育開発研究所所長
専攻：グラフ理論、離散幾何学
演題：「ある舟は東へ進み、他の舟は同じ風で西へ進む」
- (5) 首里高校創立百三十周年、那覇高校創立百周年記念第 11 回首里高校・那覇高校対抗野球大会
及び対抗スポーツ大会 平成 22 年 11 月 14 日(日)
- (6) 記念式典
本校体育館 平成 22 年 12 月 9 日(木) 14 時 30 分～
- (7) 記念祝賀会
ホテル日航那覇グランドキャッスル 平成 22 年 12 月 9 日(木) 18 時 30 分～
- (8) 創立百三十周年記念 合唱部 第 45 回定期演奏会、吹奏楽部 第 46 回定期演奏会開催予定
平成 23 年 3 月下旬

2 人材育成・教育活動等支援推進事業

- (1) 養秀奨学基金創設（毎年 5 名に貸与）
県外 3 名、県内 2 名
- (2) 懸賞論文の募集（「首里高校にもの申す～首里高校の未来を考える～」）
- (3) 校歌、応援歌収録 CD の作成
- (4) 吹奏楽部楽器購入他体育備品等の充実
- (5) 石嶺球場の整備
- (6) 「目で見る養秀百三十年」（記念誌）の発行 平成 22 年 12 月 9 日(木)
- (7) 「養秀そうし」の発行 平成 22 年 12 月 9 日(木)
- (8) 養秀資料室の設置
- (9) 「海邦養秀」スクールバッグ制作・配布 平成 22 年 12 月 9 日(木)
- (10) 可動式組み立てパネルの購入

3 資金造成事業

- ・創立百三十周年記念ボトル作成
- ・創立百三十周年記念タオル販売
- ・創立百三十周年記念ボウリングチケット販売
- ・創立百三十周年記念ゴルフコンペ開催

祝 賀 会

《プログラム》

18：30～ ホテル日航那覇グランドキャッスル首里の間

司 会 安谷屋 真理子 (同窓生)

- | | | | |
|----|--------|-----------------|----------|
| 1 | 開会のことば | 実行委員会副会長 | 田 場 稔 |
| 2 | 校歌斉唱 | | |
| 3 | 古典舞踊 | 啓扇本流 船乃会 家元 | 船 越 節 子 |
| 4 | あいさつ | 実行委員会会長・養秀同窓会会長 | 石 川 秀 雄 |
| 5 | 祝 辞 | 沖縄県教育委員会委員長 | 比 嘉 梨 香 |
| | | 元県教育長・学校評議員 | 津 留 健 二 |
| 6 | 記念演奏 | 吹奏楽部・OB 指揮 | 山 元 正 造 |
| 7 | 乾 杯 | 元副知事 | 尚 弘 子 |
| 8 | 歓 談 | | |
| 9 | あいさつ | 校 長 | 山入端 恵 子 |
| 10 | あいさつ | P T A会長 | 森 田 悦 雄 |
| 11 | 余 興 | | P T A関係者 |
| 12 | 応 援 歌 | | 高 良 正 次 |
| 13 | 万歳三唱 | | 吉 田 朝 啓 |
| 14 | 閉会のことば | P T A副会長 | 大 胡 弥 生 |